

例会報告：2013年10月22日（晴れ） 第1819回 通常例会

◆ビジター

関野 純一様（小田原北RC）

◆ゲスト

久郷 則明様（神奈川県政策局）
 湊 治子様（神奈川県政策局）
 佐藤 直人様（bjリーグアカデミー事業部 事業担当ディレクター）

◆会員誕生日

清 康夫さん（10月22日）
 木村 頼弘さん（10月24日）
 太田 忠さん（10月26日）



◆結婚記念日

石内 正彦さん（11月1日）
 本多 純二さん（11月4日）

◆奥様誕生日

渡部 喜代子さん（10月22日）

◆ニコニコ箱

上田 博和委員

	ニコニコ箱	累計	目標
10月22日分	22,000	462,250	1,300,000

*ビジター

関野 純一様（小田原北RC）…いつもお世話様です。今日もよろしくお願ひします。

*会員誕生日

清 康夫さん…誕生日祝い有難うございます。本日で72才、気持は52才をもって家内と共に健康に注意し元気に過ごしたいと思ひます。これからも皆様の御指導宜しく、明日は小金井カントリークラブでゴルフコンペ、優勝するつもりで頑張ります。

太田 忠さん…誕生日のお祝いありがとうございます。今晚友人がお祝をしてくれる様です。ます。

*結婚記念日

本多 純二さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。明日から8日間程、ロシアの方面に旅行に行くと言っていました。しばらく独身です。誘わないで下さい。

*その他

田代 博信さん…長い間休みをいただきますみません。クラブをはじめ皆様にお見舞い頂き、また励ましのお言葉をいただきありがとうございました。お陰様で元気になりました。

石崎 孝さん…今月に入会月です。23年目に入りました。

小嶋 章司さん…太田さん小田原商工会議所1号議員おめでとうございます。また誕生日おめでとうございます。

大木 清さん…急用が出来ましたので、中途退席します。

木村 啓滋さん…本日、所用のため中途退席させていただきます。よろしくお願ひいたします。

■ ■ ■ 今後のメーカー情報 ■ ■ ■

▶6日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
 「卓話:杉山 博久様/大正の異才 詩人福田正夫-小田原の文士から-」

▶7日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
 「卓話:藤井秀樹様/プロジェクションマッピングによる地域活性化」

▶8日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
 「卓話:会員担当による卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30
 「卓話:宮城県雄勝町(0311震災被災地)OHガッツ代表 伊藤様(漁師)/震災復興と漁業のこれから」

▶11日(月) 小田原 報徳会館 12:30
 「卓話:クラブフォーラム/ロータリー財団」

▶12日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
 「卓話:会員担当による卓話」

▶13日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
 「卓話:クラブ協議会/姉妹友好クラブ途中経過報告」

▶14日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
 「卓話:七田アカデミー/幼児教育について」

▶15日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
 「卓話:会員担当による卓話」

足柄 夜間移動例会 M.U.無し
 「卓話:チャーターナイト記念例会」

▶16日(土) 小田原城北RAC 小田原駅JR前改札口集合 10:00
 「卓話:商店街清掃」

▶18日(月) 小田原 報徳会館 報徳会館 12:30
 「卓話:新会員自己紹介」

▶19日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
 「卓話:会員担当による卓話/ロータリー財団委員長」

▶20日(水) 小田原北 移動例会 M.U.無し
 「卓話:家族親睦旅行・帝国劇場」

▶21日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
 「卓話:地区ロータリー財団委員会」

▶22日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
 「卓話:会員担当による卓話/ロータリー財団」

足柄 おんりーゆー 12:30
 「卓話:クラブフォーラム/被災地支援事業について」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30

クラブ会報委員会
 監修：金山 慶昭
 編集長：久保田 知子
 コピーライター：大川 誠
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：51名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
 ODAWARA JOHOKU R.C.
 2013-2014
 WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
 ロン D. バートン
 【R.I. 2780地区ガバナー】
 相澤 光春
 【第9グループガバナー補佐】
 井島 誠行



【会長】露木 清勝
 【副会長】須賀 俊和
 【幹事】金山 慶昭
 【副幹事】木村 頼弘
 【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
 ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：通常例会（第1820回）

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2013年11月5日 12:30～13:30
 司会：木村 頼弘 副幹事

12:30	開会点鐘：露木 清勝会長 ロータリーソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：国際奉仕プロジェクト 卓話：地区担当委員 「友好クラブの調査研究について」
13:30	閉会点鐘：露木 清勝 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

11月12日 通常例会 12:30
 担当：大谷 宏会員
 卓話：小田原職業安定所 脇 直一所长・同 大谷 彰雇用指導官
 「雇用安定行政の現状」

11月19日 通常例会 12:30
 担当：ロータリー財団委員会大川久弥委員長
 卓話：今村 仁様・地区財団補助金（補助金推進）広報・研修部会担当（鎌倉RC）
 「新地区補助金について」

11月26日 通常例会 12:30
 担当：大谷 宏会員
 卓話：鈴木 磁様・小田原箱根ホールディングス(株)取締役営業部長「小田急グループの箱根における取組について」

12月3日 年次総会 12:30 ※定足数は会員総数の3分の1
 担当：執行部・次年度会長
 卓話：年次総会
 「次々年度会長・次年度役員/理事の選挙」

■ Abbyコーナー

10月24日、地元の婦人部のバス旅行にアビーと参加しスカイツリーと築地に行って来ました。おばちゃん達にも可愛がってもらい、たくさんのお菓子をプレゼントされ大喜び^^

スカイツリーでは展望回廊まで行き眼下に広がる景色を満喫！ お菓子を食べて過ぎたアビーは築地で昼食のお寿司を残してました

カメラをバスに忘れてもお菓子はしっかり持って帰って来ました(-;-)

学校！ズル休みさせました、本人大喜びの一日でした。



ROTARACT CLUB
RAC
会員募集中
 相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2013年10月22日（晴れ）第1819回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶



露木 清勝 会長

最初に皆様方にお許しを得なければなりません。本日神奈川県西総合センターの企画調整部長久郷様にお出でいただいております。11月9日に黒岩神奈川県知事が来訪されるということで、そのインフォメーションをしていただきます。後ほど例会の貴重なお時間を拝借させていただきますが、よろしくお願いたします。

さて先週の例会後、台風が接近し伊豆大島では大雨となり、大変大きな土石流が発生、多くの人命が奪われ、いまだに多くの行方不明者がおられることは皆様もご承知だと思います。被害に遭われた皆様方には本当にお見舞い申し上げます。伊豆大島と言えば、晴れた日には小田原の海岸からは目と鼻の先に見える島です。1日に800ミリという大雨が降ったそうですが、今週末にまた本州に近づく台風27号が今度は小田原に被害をもたらさないという保証はありません。十分な警戒が必要です。

話は少し変わりますが、今から20年ほど前には、この地域の大地震の70周年説がもてはやされていて、小田原にいつ関東大地震級の地震があっても不思議はないと言われていました。幸いこの説は、当たりませんでした。1995年には阪神淡路大震災、そして一昨年、東関東大震災と我々の予想をはるかに超えた大地震を経験しました。この様な地震や台風、最近では竜巻等、自然災害の脅威は以前にも増して増加しているような気がします。

先週開催されました、第9グループの会長幹事会では、来年度、新地区補助金の申請が第9グループからは無いとのこと。また地区全体でもその数は昨年より低下しているとの報告がありました。もしもグループ全体で未来の夢計画に対する有効なプロジェクトが立案されないようならば、この地区に何時かは起きるであろう自然災害に備える、ロータリー自然災害基金なるものがあっても良いのかなどと考えました。起きては困りますが、未来に備える計画があっても良いのでは・・・皆様はどの様にお考えでしょうか？

❖ 幹事報告

金山 慶昭 幹事



1)来週の例会は休会です。
2)その次の例会はハワイの報告ですが、その前に細則変更の採決がありますので資料をご持参ください。
3)また、理事の皆様には11月5日は11時より理事会があります。
4)地区大会にバスで参加の方と懇親会に参加の方にはご案内をさせていただきます。
5)懇親会へは新会員の方もご参加ください。

❖ 「県西地域活性化について」

県西地域県西総合センター
久郷 則昭 様



現在県西地域の活性化プロジェクトを検討しており、ご意見をいただきたいと思っております。県東部では京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区、県中央部では相模口ポット産業特区という取り組みが進められています。県西地域にもこの二つに匹敵するようなプロジェクトを展開して経済のエンジンを回していきたいと考えています。

「ヘルスケア・ニューフロンティア」は、最先端医療・最新技術の追求と未病を治すという二つのアプローチから、新たな市場産業の創出と健康寿命の延伸を目指す取り組みです。

その一つ「未病を治す」をキーワードに県西地域の活性化を図るプロジェクトを立ち上げます。

県西地域は生産から消費まで一貫した食の提供ができ、運動が楽しめる森や温泉に恵まれた多彩な魅力にあふれる地域です。このプロジェクトはその多彩な魅力を繋げて一つの大きな魅力を作り、新たな活力を生み出そうというものです。例として、食材を活かした医食同源の実践、農林水産業の六次産業化、未病から健康を繋ぐ産業の集積などが考えられます。11/1までご意見を頂戴していますので、是非率直な声をお聞かせください。

❖ 出席報告

大木 清 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
10月22日	50(46)	39	1	86.96%
10月15日	50(47)	42	0	89.36%
10月8日	50(46)	39	0	86.96%

【欠席者】 7名
須賀 俊和、辻村 彰秀、久保田 知子、石内 正彦、須藤 公司、石橋 徹、高橋 哲也
【今回MU】 1名
須藤 公司 (10/13 小田原城北RAC)
【前回MU】 0名
【前々回MU】 0名

❖ Table Flower

- キノシホン
- ガーベラ
- スプレーストック・カルテット

ガーベラの花言葉は「希望」「神秘」
ストックの花言葉は「平和」「思いやり」



❖ 卓話

「スポーツと地域活用について」

bjリーグ代表取締役
中野 秀光 様



私は新潟県小千谷市という小さな町で44歳まで家紋職人をしていました。それがどうしてプロバスケットリーグに？今日はbjリーグが何故立ち上がったか、小さな町で起きたとんでもない奇跡の話をお聞かせいたします。

アメリカにNBAというプロバスケットリーグがあります。始まりは私が小千谷青年会議所理事長の時に、そのNBAの選手を呼んだことです。チケット代が1万円、それを6千枚売りました。きっかけは地元の子供たち。日本のトップリーグの試合を見せたことからバスケット熱が高まり、全国大会出場を遂げ、インターハイに出場し、NBAの選手に指導していただいて優勝することになります。それをほんの数年間成し遂げたのでした。感動しました。

bjリーグはまだ9年目です。私は1997年にJリーグの川淵チェアマンの下で修業していましたが、突然新潟アルビレックスに声をかけられました。アルビレックスは12個のプロリーグをやっています。J1、なでしこ、シンガポールやスペインにチームを持ち、バスケットはbjと女子もやっています。スキー、陸上、全てプロで、野球の北信越リーグも成功しています。モータースポーツ、チアリーダーなど合わせて12のプロリーグが全て黒字で、ビジネスとして地元雇用を確保することに成功しています。ポイントは「お年寄りと孫をセットにした」こと。町内会の回覧板に『アルビレックスの試合、孫と来たらタダ！』と打ったのが始まりです。観戦するだけでなく、孫との会話が増えて毎週行くようになった、すると間の世代の両親も加わる…それが「海老で鯛を釣った」という新潟の奇跡です。



元々私はバスケの指導をしていましたが「バスケをメジャーにしたかったらバスケット以外の社会貢献をちゃんとやれ」と言われ、そういう道に入ります。日本のスポーツはほとんどが実業団で、景気が悪

くなると最初に切られてしまいます。バスケット界も16チームが廃部になっていた頃、Jリーグのアルビレックスにバスケットチームをバックアップしてくれないかという話が出ます。しかしそこで「Jリーグは県民の総意とフロントと一枚岩になってやっている。チームだけではなくフロントはビジネスのプロだ。そこをきちっとできなければバックアップはできない。実業団の試合はバスケットをやっている人しか見に来ない。

プロ野球やJリーグにはやっていない人が面白いと来てくれるからビジネスとして成り立っている。もしバスケットがプロ化して地元雇用ができるのなら投資する」と言われます。それを受け

て1999年、日本バスケットリーグは3年以内にプロ化することを決定します。2003年に新潟はトップリーグに上がりましたが、プロリーグはまだ実現していませんでした。しかしあるファンが熱心な要望の手紙を書いてくださり、チャレンジの機会を与えられました。経済界から出資者も現れましたがまだお金が足りません。そこで世界中のプロスポーツの失敗例を学びました。赤字になるのは選手の年俸の高騰が一番の理由だったので、全チームの選手の年俸合計に限度額を設けるというルールを作りスタートしました。日本バスケット協会は1～2年で潰れるだろうと思ったそうですが、現在全国に21球団あり、そのうち6割が黒字です。NBAのコミッショナーから、自力で半分以上黒字なのは世界中のプロスポーツでbjリーグだけだ、と言われました。1社で支えるのではなく5～600社に支えてもらっています。1社当たりの金額は少なくとも景気不景気に左右されない仕組みです。

我々の試合は10月から5月までの52週で組まれています。ホーム&アウェーですので、半分の26日しか商売していない訳です。そこで365日ビジネスができることを考えました。選手の体のケアのための食事から、引退後のセカンドビジネスに繋がる飲食店経営のことを学び、小さな体育館で試合ができるので、小規模な市町村からスポンサーや観客を得る工夫をしました。そうこうするうち、だんだん大きな体育館が埋まるようになってきます。今までこまめに回ってきた小さな市町村からバスツアーで来てくれます。そのお客さんを主役にラジオ番組も作りました。それを聞いた人が次の試合を見に来てくれる…その積み重ねで満席になっていったのです。すると30の都道府県から試合の視察に来て、全国に広がっていったのでした。ファン同志の結婚式、室内での花火、飲食ブースの充実、サッカーや他のスポーツと併せ1年中応援できること、など工夫を重ね、地域を儲けさせることを目標に、今では85%のお客様がバスケット経験のない人です。

bjリーグでは、失敗例成功例を全て他球団に教えずにはいけないというルールがあります。お互いに盛り上がることでアウェーにも来てくれて大きな経済効果を得られるからです。また、スポーツだけでなく医療や福祉にも新しい取り組みも行っています。

最後に心に残る言葉を。「もしこの世の中すべての事柄に成功を求められるならば、この世の中に青年はいらない」この言葉と出会わなければ、今の自分はなかったと思っています。

